※当レポートは株式会社フィスコが目論見書および会社発表業績予想を要約し、類似企業はフィスコが選択したものです

TOKIUM
664A・100株
11月25日
東証グロース上場

AIエージェントで経理業務を効率化

経理領域における業務プロセスを丸ごと受託し、業務成果を納品する経理AIエージェント「TOKIUM」を顧客に提供。一般的なSaaSとは異なり、証憑のデータ化や原本管理などの実務も担う点が特徴。2026年5月期の売上総利益率は68.1%。

経理業務の効率化需要が高まるなか、経理AIエージェントを展開する同社にも投資家の注目が集まりそうだ。AIと人的オペレーションを組み合わせた独自の事業モデルに加え、低い解約率に裏付けられたストック収益の安定性も評価材料となろう。

■IPOスケジュールと類似企業バリュエーション

日程	
仮条件提示	11月6日
ブックビルディング期間	11月9日～11月13日
公開価格決定	11月16日
申込期間	11月17日～11月20日
払込日	11月24日
上場日	11月25日

類似会社3社	
ラクス<3923>	15.4倍(連)
Sansan<4443>	32.0倍(連)
ファーストA<5588>	33.2倍(連)

（PERは11月2日終値の会社側予想ベース）

TOKIUM

664A・100株

11月25日
東証グロース上場

業績推移　（百万円・％）						
決算期	売上高	伸び率	経常損益	伸び率	純損益	伸び率
2023/5	1,404	73.1%	▲ 1,881	－	▲ 1,886	－
2024/5	3,355	139.0%	▲ 605	－	▲ 610	－
2025/5	4,485	33.7%	▲ 786	－	▲ 791	－
2026/5	5,680	26.6%	147	－	21	－
2027/5 予	－	－	－	－	－	－

連結業績推移　（百万円・％）						
決算期	売上高	伸び率	経常損益	伸び率	純損益	伸び率
2025/5	4,601	－	▲ 772	－	▲ 784	－
2026/5	5,966	29.7%	45	－	29	－
2027/5 予	7,222	21.1%	316	600.4%	404	1248.9%
2026/8 1Q	1,743	－	255	－	254	－
予想EPS／配当	連結：38.86円／0.00円 ※予想EPSは上場時発行済株式数で試算					

■業績コメント

2027年5月期の業績は、売上高が前期比21.1%増の72.2億円、経常利益が同7.0倍の3.1億円と増収増益を見込む。

2026年5月期は売上高が前期比29.7%増の59.6億円となり、販売費及び一般管理費の削減などが寄与して創業以来初の営業黒字を達成した。2027年5月期も増収に加え、業務効率化による収益性の改善が進む見込み。主力の経理AIエージェント事業では、大手企業への営業強化や既存顧客の利用領域拡大により、月額利用料と従量課金を中心とするストック収益の積み上げを図る。2026年5月期末のシリーズ累計導入社数は3,244社。

2027年5月期は、オペレーション体制の増強や大手企業向け案件に係る新規人材の採用を進める一方、AI活用による業務処理コストの低減や外注費の削減などを通じ、売上総利益率は前期の68.1%から改善するとみられる。広告宣伝費の効率化なども利益拡大に寄与する見通し。

2027年5月期第1四半期の売上高は17.4億円、経常利益は2.5億円となり、通期計画に対する進捗率はそれぞれ24.1%、80.8%となった。シリーズ累計導入社数は2026年8月末に3,368社へ増加した。

TOKIUM

664A・100株
11月25日
東証グロース上場

基本概要	
所在地	東京都中央区銀座六丁目18番2号
代表者名 （生年月日）	代表取締役 黒崎 賢一（平成3年9月27日生）
設立	平成24年6月26日
資本金	1億円（令和8年10月16日現在）
従業員数	新規上場会社270人 連結会社278人（令和8年8月31日現在）
発行済株式数 （上場時）	10,395,620株（予定）
公開株式数	公　募　617,300　株　　売　出　1,100,100　株 （オーバーアロットメントによる売出257,600株）
想定公開規模	30.0億円～34.0億円（ＯＡ含む）
事業内容	経理領域における業務プロセスを丸ごと受託し、業務成果を納品する経理AIエージェント「TOKIUM」を顧客に提供

売上高構成比率 （ 2026/5期 実績 ）

品目	金額		比率	
経理AIエージェント	5,848	百万円	98.0	%
その他	117	百万円	2.0	%
合　計	5,966	百万円	100.0	%

幹事証券団 （ 予定 ）

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	大和証券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	松井証券(株)	未定	未定
幹事証券	楽天証券(株)	未定	未定
幹事証券	あかつき証券(株)	未定	未定
幹事証券	岩井コスモ証券(株)	未定	未定
幹事証券	極東証券(株)	未定	未定
幹事証券	東海東京証券(株)	未定	未定
幹事証券	東洋証券(株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定

TOKIUM

664A・100株
11月25日
東証グロース上場

その他情報		
手取金の使途	(1)広告宣伝費・販売手数料、(2)採用費、(3)開発費用、(4)設備資金に充当する予定	
関係会社	(株)BearTail X　(連結子会社)　その他事業 (株)TOKIUMスタッフィング　(連結子会社)　経理AIエージェント事業	
VC売却可能分（推定）	－社　－株（売出し・保有期間などの制限があるもの以外）	
直近有償第三者割当	年月日	2024年6月7日
	割当先	TGVest Asia Partners II (Taiwan), L.P. TGVest Asia Partners II, L.P.
	発行価格	3,420円　※株式分割を考慮済み

大株主上位10者とロックアップ

株主名	株比率	ロックアップ
黒崎 賢一（社長）	12.79%	180日間
（株）96	12.79%	180日間
ニッセイ・キャピタル6号投資事業有限責任組合	9.48%	90日間 1.5倍
ジャフコSV6投資事業有限責任組合	8.74%	90日間 1.5倍
TGVest Asia Partners II (Taiwan), L.P.	7.28%	90日間 1.5倍
ニッセイ・キャピタル9号投資事業有限責任組合	7.15%	90日間 1.5倍
（株）リロクラブ	6.08%	90日間 1.5倍
JICベンチャー・グロース・ファンド1号投資事業有限責任組合	6.02%	90日間 1.5倍
IF Growth Opportunity Fund I, L.P.	3.84%	90日間 1.5倍
ニッセイ・キャピタル5号投資事業有限責任組合	3.75%	90日間 1.5倍

TOKIUM

664A・100株

11月25日
東証グロース上場

■銘柄紹介

2012年6月、茨城県つくば市に(株)BearTailを設立。2022年3月に現社名へ商号変更した。同社グループは、経理業務をシステム、人工知能（AI）、オペレーターを組み合わせて一括処理する「経理AIエージェント事業」を展開する。事業は同事業の単一セグメント。

主力サービスは、経費精算を効率化する「TOKIUM経費精算」と、請求書の受領から仕訳・会計システムへの連携を支援する「TOKIUMインボイス」。前者では、従業員が領収書をスマートフォンで撮影し、原本をまとめて郵送するだけで、データ化や点検、保管などを同社が代行する。後者では、郵送やメール、Webなど複数の形式で届く請求書を一括して受領し、データ化から承認、仕訳、会計システムへの連携、保管を支援する。このほか、電子帳簿保存法に対応した「TOKIUM電子帳簿保存」、契約書を管理する「TOKIUM契約管理」、請求書の送付業務を効率化する「TOKIUM請求書発行」などを提供する。収益モデルは初期費用、基本利用料、処理件数などに応じた従量課金で構成され、基本的に1年単位で契約を更新するストック型の収益構造となっている。

サービスは、自社開発システムにAIエージェントとオペレーターによる業務処理を組み込む「Embedded AI Agents」と、顧客の既存システムを横断して業務プロセス全体を受託する「Managed AI Agents」の2つに分類される。前者は経費精算や請求書支払などの定型的な経理業務等を対象に中堅・大手企業に展開する。後者では顧客要件に合わせて業務レーンを設計し、処理量が多く複雑な業務を抱える大手企業に対応する。AIによる自動処理と人手による確認・例外対応を組み合わせることで、一般的なSaaSでは顧客側に残りやすい作業まで引き受け、業務成果を納品する点が特徴となっている。

同社は、システム、AI、オペレーターを組み合わせた独自の業務処理基盤を強みとしている。東京・千葉の2拠点にスキャンセンターを設けるほか、国内外のクラウドオペレーターを活用し、大量の経理書類を処理する体制を構築。2026年5月時点でクラウドオペレーターの月間稼働数は8,000名以上に達する。AIによる処理の自動化と人員配置の最適化を進め、2023年6月から2026年5月にかけて、1件当たり処理単価を、スキャン工程で58%、データ化工程で45%削減した。また、経理書類の処理を通じて蓄積したデータをAIモデルの精度向上に活用し、処理品質の改善とコスト削減を継続的に進める仕組みを構築。電子帳簿保存法の改正やインボイス制度の導入など、法制度の変更を捉えたサービス拡張にも取り組んでいる。

収益基盤の安定性も特徴で、2026年8月末時点において、顧客数は2,327社、うち上場企業は278社。最大顧客の月次経常収益（MRR）に占める割合は1.19%にとどまり、特定顧客への依存度は低い。また、主力サービスの12カ月平均の月次解約率は0.27%と低水準で推移している。顧客当たりの平均業務処理レーン利用数は2023年5月期末の1.27から2026年8月末には1.45へ上昇。顧客のセグメント別年間経常収益（ARR）構成比では、中堅企業が65.5%、大手企業が15.0%を占め、両者で全体の80.5%に達する。今後は既存顧客への追加サービス提案による顧客単価の向上に加え、大手企業向けの「Managed AI Agents」の展開を強化し、収益拡大を図る方針。

免責事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。
本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。
本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。
本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。また、本レポートに掲載されている発行体と当社（IRコンサル部）は現在または将来において、（アナリストレポートの作成や動画配信、IRコンサルティングサービスなどの）有償の取引を行っている/行う場合がございます。
本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。
本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正･加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。
フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。
以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■
〒107-0062 東京都港区南青山五丁目13 番3 号
株式会社フィスコ
電話：03-5774-2443（情報配信部） メールアドレス：support@fisco.co.jp